

会 議 録

会議の名称		第5回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校 開校準備委員会		
開催日時		令和5年1月19日（木） 開会 18：30 閉会 20：30		
開催場所		つくば市役所2階 201会議室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	井上拳吾、金子朋子、黒崎徹、松本麻衣、谷池真彦 岡村直之、松本智加、関美智子、牧野祐一		
	事務局	教育施設課係長草間匡人、学び推進課課長岡田太郎 学務課課長下田裕久、学務課課長補佐川又文江 学務課係長中山美希、学務課主任工藤麻貴 学務課主任篠原周平、学務課主事白土直也		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 校章案デザイン募集結果及び制作について (2) 制服・体操服について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 校章案デザイン募集結果及び制作について (2) 制服・体操服について 3 その他 4 閉会			

<審議内容>

1 開会

事務局：ただいまから第5回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を開催いたします。議事に入ります前にお願いをいたします。

本日の委員会は、AIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用

しております。このため、大変お手数ですが、ご発言の際は必ずマイクをご使用くださいますようお願いいたします。マイクの下スイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくお願いいたします。それではこれより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。

委員長：よろしくお願いいたします。それでは、会議を進行させていただきます。傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：傍聴人はいません。

委員長：傍聴人はいらっしゃらないようなので議事に入りたいと思います。配布資料の説明をしていただけますか。

事務局：はい、事務局です。それでは初めに、資料の説明をさせていただきます。1枚めくりまして、資料1の方をご覧ください。こちらは校章案選定スケジュールの案の方になっております。本日、第5回委員会1月19日木曜日、校章案の候補の絞り込みとデザイン化に関する調整を行います。その後、1月下旬から2月中旬で校章案のデザイン化の方を予定しており、第6回委員会を2月下旬の頃に予定しております。3月上旬にアンケートの調整後、アンケートを実施して、3月中旬の第7回委員会で校章案を決定していきたいと思います。続いて資料2をご覧ください。まず初めに資料2-1ですが、こちらは校章案デザイン募集の集計結果の方になっております。今回1年生から3年生と4年生から9年生と保護者、通学区域内在住者で分けさせていただきました。トータルで応募数の方は415件となりました。資料2-2をご覧ください。こちらは校章案デザイン募集結果の1年生から3年生となっております。件数が多いのでこちらでジャンル分けをさせていただきます。1番から43番がクローバーの方モチーフにしたデザイン。44番から72番は自然をモチーフとしたデザイン。73番から123番は漢字の南の文字をモチーフとしたデザイン。124番から132番は、

鳥、フクロウ、羽根であるものをモチーフとしたデザイン。133番から240番はその他となっております。資料2-3も同じように全部で169件ありますが、1番から53番はクローバー。54番から105番は自然。106番から123番は漢字の南。124番から126番が鳥、フクロウ。127番から169番はその他となっております。資料2-4の方は保護者さんからいただいたデザイン案で、全部で4件になっています。続きまして資料2-5の方は通学区域内の在住者からいただいたデザイン案で、トータル2件となっております。参考資料として、研究学園小学校の校章案の方を入れさせていただきました。今回ですが校章案の募集と同時にデザイン制作の協力者を募ったところ、2人の保護者の方から協力を申し出ていただきました。前回の委員会で委員会関係者が1人協力していただけるので、合わせて、全部で3名の保護者にデザイン制作を依頼することになります。制作方法としましては、資料2-2から2-5のデザインをすべてお渡しして、パーツを組み合わせていただいたり、補正したりしてデザインを完成させる方法を想定しています。具体的にどういったものかといいますと、資料2-3の方を見ていただきまして、例えばなんですけども2-3の3番のデザインですね。南の部分と三つ葉の部分があるんですけども、あと6番のデザインの方は鉛筆の絵の中にクローバーの部分があります。これを3番の南の部分と6番の鉛筆の枠の部分を組み合わせてたりして作品を完成させるイメージです。今回皆さんに協議していただきたい内容としましては、デザイン制作者への依頼の仕方になります。例えばなんですけども、小学校と中学校の校章を似たものにするか、別のものにするか、またはそこも含めてデザイン制作者の方に一任するか。例としましては、研究学園の方は特に小、中学校で分けて欲しいと言わずに、制作者さんにデザイン案を渡して、お任せで作っていただきましたが、小学校と中学校で分かれているので、参考資料にもあるように、似たようなもので小学校と中学校で作って

いただいたという経緯もあります。あとは1人の制作者さんに何点の作品を依頼するか。こちらの方は今回3人の協力者がいらっしゃいますので、例えば1人に5点とかを依頼してしまうと全部で15点集まってしまい、その先にあるアンケートの中で15点の中でのアンケートになってしまいます。また、制作期間は1ヶ月ほどなので、研究学園のものを見ていただきますと、小学校と中学校、カラー版とモノクロ版で1点のデザイン案に対して、全部で4つの点数がありますので、そちらの方も考慮していただいて、1人2点すると全部で6点でアンケートになりますので、そちらを考慮して点数の方は決めていただければと思います。あとはモチーフ等を指定して依頼するのか。こちらはこういったものかといいますと、例えば、研究学園の方とかですと、フクロウであったりを入れて欲しいってことで制作さんの方に依頼して、モチーフ作品として2点で1点は自由に作って欲しいっていう形で依頼して1人当たり3点、協力者は2人いたので、全部で6点の方を依頼させていただきました。まず初めに(1)番の校章案の依頼ということで議事の方を進めていただきまして、終わりましたら、2番目の制服・体操服の流れに移っていきたいと思いますので、委員長よろしく願いいたします。

委員長：はい。それでは依頼の方法について、協議したいと思います。まず依頼の仕方ですけれども、一任するか、モチーフを指定するか、小と中で別物にするかという点かと思うんですけれども、どうしたらいいと思いますか。

委員：まず質問がありまして、3名の方が立候補いただいているということですが、この3名の方は皆様、職業としてデザインをやられている方なのかなというところを最初にお聞きしたかったのですが、というのも善意で立候補していただいたけれども、その技術的に比較対象にならなかった場合、同等のアンケート対象として出すのはちょっと一旦考えたほうがいいかなってなっちゃう。考える必要がない様な水準のものが集まっ

たらしいのかなと思った次第です。

委員長：今回、その手伝ってくださる3名の方は、それぞれどのような経歴の方かわかりますか。

事務局：はい、事務局です。今回、ご協力いただける方に関しては3名中1名はデザインのお仕事に携わっています。他お2人についてはデザイン関係を専門にしているというわけではなくて、趣味の方でデザインの方を作られている方になります。以上です。

委員長：事務局にお伺いしたいんですけども、他の学校ではそのような状態ってあったんですかね。プロっていうか、そういう職業の人と善意で手伝ってくれる人がいる状態だったのかということと、何かそれで、出てきたデザインについて、素人さんが作ったものは、それなりに見えるように補正してアンケートに載せたのかとか。

事務局：はい、事務局です。研究学園の方の例なんですけども、2人の協力者がいらっしゃって、1人はウェブデザイナーをしている方。もう1人は学校の先生に協力の方をお願いいたしました。また、今回のみどりの南のデザインを職業というわけではなくて、趣味の方でやられている2人の方なんですけども、資料2-4見ていただきまして、全部で4点あるんですけども、このうちの2点はデザイン協力者の方がデザインしたものになります。

委員長：どうですかね。この2-4の資料を見ると。

委員：素敵だと思います。今後の過程で製品化等していく際に、何て言うか、耐えうるというか、その水準で作られているというようなご理解でよろしいですか。この後ワンステップ、補正をするという過程が必要ないものを作っていただくっていうことですよ。

事務局：はい、事務局です。今のお話で、例えばこの2-4の資料を見ていただいて、この4点のうち、3人のうちの2人の方が作ってきている部分で、

その方をお願いするわけなんですけど、お願いする時は先ほど言ったように、全部出ているところから部品を取って、こういうモチーフをお願いするようになるので、これぐらいの技術がある方なんですっていうことがわかっていただいて、その方たちは自分のこのデザイン。例えば今回の方。もし仮に1番だったとすると、1番のデザインというのはそれはもう、あくまでデザインは自分が出してもらったものなので、イメージは取ってもらって、こちらがお願いする部分を言って、こういった形になるような部分で作っていただいて、作っていただいたものはそのままアンケートを掛けて、補正はそんなにすることはないですね。例えば、できてきたものが仮に部品取りして全部1番だったとすると、1番の緑の山の色を変えとか、皆さんが見て、できるかできないかっていうことがあるのかどうかだけっていうのをお伝えするかどうかっていうことには、今後やるかどうかですけども、基本的には上がってきたデザインをそのままアンケートにかけることになるのかな。全部一任でお願いするわけなので、そういうものかなとは思いますが。なので、できたものを我々が作成者の方と違うプロの方に新たをお願いするっていうことはないです。よろしいでしょうか。

委員長：そういう形になりますね。はい。それでは、一任して、この上がってきたデザインの中からパーツを取って、それぞれの方が作るのか。または、委員会の中で、モチーフを指定して作っていただくか。それについて検討したいと思いますけども、いかがですか。はい、お願いします。

委員：はい。です。やっぱり小学校とか皆さんにアンケートをお願いしていたので、やっぱりモチーフ、パーツを取って依頼した方が、皆さんの考えが反映されていいのかなというふうに私は思います。でも、委員会で何か指定するんじゃないかと、ここからってということですか。例えば羽根を使ってくださいって指定して作ってもらうのか。そうじゃなくても、この中から、

デザインしてくださる方のイメージでパーツを取って、作っていただくの
かっていう。はい。

委員長：何か指定した方がいいですか。

委員：そうですね指定した方がいいと思います。事務局さんの方で分類分けし
てくださっているの、この上位に出ているクローバーであったり、筑波
山であったりフクロウだったりというところは取りたいなというふうに思
っています。

委員長：はい、ありがとうございます。皆さんどうですか。他のご意見ありま
すか。一緒の学園になる谷田部南小さんの方のご意見は。

委員：モチーフの指定もあっていいかなと思うんですけど、やはり学校名がき
ちんと入った方がいいのかなって多分こちらの案として挙げていただい
たものには、もちろん名前が入ってないものも多いので、そのところは、
入れていただいた方が、きちんとその学校ってのわかりやすくていいのか
なと思います。

委員長：他にご意見はありますか。モチーフは委員会で指定して作っていただ
くことでよろしいですか、まずは。反対意見なしということでモチー
フを指定して作っていただくということが1つ。それでは1人何点作って
いただくか、ご意見ありますか。

委員：前例を踏まえても、3人掛ける2点ずつが妥当かなと思いました。

委員長：1人2点作っていただく。いかがでしょうか。はい。私も2点がいい
かなと思います。2点作っていただく、モチーフを指定して作っていただ
く。事務局さん。モチーフを指定して作っていただく。お1人二つデザイ
ンを作っていただくってところまで決まったんですけどあと何でした
っけ。

事務局：よろしいですか。例えば、一番最初に多分説明させてもらったんです
けど、香取台は3点で、モチーフ指定なしで、この素材を全部渡してお願

いしたということがあって、研究学園は3点のうち2点は今みたいにモチーフを指定して、1点はこの部品取りを自由にして作ってくださいというお願いをしたんですね。それで今、モチーフっていうのと学校名が入るような感じに作ってもらいたいということになると、2点なので、1点はモチーフ指定もの、もう1点は学校名が入るものとなると、お願いした人の自由度はない。全部フリーでっていうのがないので、それにモチーフとこの部品を自分で探してきてくるっていう部分のアレンジになると思うんですけど、完全なフリーはない状態になるので、頼み方が本当にモチーフと学校名が入るように作ってもらうっていうのを2点お願いするのか、丸々1点はフリーっていうことも考えたものをお願いするかで数も決まりますけど、その辺はフリーっていう部分を作るか作らないかっていうのはどうするかですかね。

委員長：はい、お願いします。

委員：そうですね、デザイナーさんの個性というものもやっぱり見てみたいと思いますので、例えばモチーフを入れちゃうと、やっぱりスペースとか配置とかも限られちゃってっていうのもあるので、1点見てみてもいいのかなっていうふうにみたいなのという気持ちもございます。だからフリーのものも必要だなとは思っています。

委員長：他にご意見ありますか。フリーでも作ってもらう。はい、お願いします。

委員：やはりフリーはあったほうがいいかなとは思っています。やっぱり子供たちの思いが書いてあったりっていうコメントがあるので、それを感じ取ってもらって、どんな感じになるのかなっていうのも、見てみたいなのっていうのもあるので、はい。フリーはあってもいいのかなとは思っています。

委員長：はい。フリーはなくていいなっていう意見ありますか。それはない。フリーはじゃあ作るとして、モチーフと校名はセットですか。だから、フ

リープラス、モチーフ校名が入ったものが1つっていうイメージですか。指定したモチーフで作ってもらうこのフリーのもの、校名が入ったものっていうイメージですか。それは多い。校名とモチーフはセットかな。はい、お願いします。

委員：です。他ので見ると大体校章のところに名前入ってるものが多いと思うんですけども、そうですね、モチーフと名前入りはセットだというふうに思いますけど。

委員長：はい。他ありますか。大丈夫ですか。モチーフと校名はみどりの南ってのは分かればいってことですよね。だからみどりの南って書いちゃう場合もあるし、南だけかもしれないし、S って書いてあるのかもしれないし。それは校名に入るっていうイメージで大丈夫ですか。はい、お願いします。

委員：はい。校名については、入れるという方向でお話させさせていただいて、その校名が入ったデザインを見て、例えばそれを南にするとか、その辺のオーダーを次の検討の時にできるのかなと。みどりの南にするのか、南にするのかその辺を限定的にやってしまうと、デザインの的に動かしようがなくなってくる。そこでの限定なった際に、みどりの南のデザイナーとしての意図であったり、創造的なところの部分が表現できなくなる可能性があるのかなと思いました。あともう1点、別のところで懸念しているのが、やはり本校、みどりの学園の今の校章が、四つ葉のクローバーですので、みどりの学園の方から何か分かれた、派生した学校という認識にも至る可能性があるのかなと思うので、そのモチーフの部分については、やはりその例えば四つ葉のクローバーとなってしまうと、やっぱり谷田部南小さんとみどりの学園の方で、一緒になって新しく学校ができるんだというところあたりが、やっぱりこう、ちょっと違う印象になってくるのかなと思うので、あくまで私たちのこの説明の中で、デザインを作るっていうことで

はないと思うので、そこはやっぱり慎重に考えたほうがいいのかなと私は
思いました。以上です。

委員長：校名の入れ方について、校名についてはデザイナーさんに任せるって
ことですよね。はい。いいですか。今の話からすると。クローバーの指定
をするんじゃなくて、みどりの学園に使われているものは入れないでくれ
っていうことになるのかなと。はい、お願いします。

委員：決して入れないっていうことではなくて、新しい谷田部南小さんとみど
りの学園の方で分離した学校が誕生するということ踏まえると、やは
り四つ葉のクローバーを入れるということについて、例えばそのモチー
フを1つ入れてくれというこちらの意図がやはり南小さんのイメージとみ
どりの学園のその繋がりの中のイメージになってしまうので、懸念す
ると必要あるかなとそういう意見です。決して入れないっていうことじゃ
なくて、はい。ニュアンス難しいと思うんですが、お願いします。

委員：そうですね、南小学校さんの方のことを考えるとそうなんですが、現在
みどりの学園に通っているものからみどりの南に行くものに関しては、認
識として、みどりの学園の分校として、人数が多くなったので、新しい学
校を建てて、そちらに行ってくださいねっていう考えで行く。決して行き
たくていくんじゃなくて、子供たちはやっぱりみどりの学園に通えたら、
みどりの学園に行っておきたいし、南さんはそのままいておきたいかも
しれないんですよね。何かその認識がみどりの学園に通っていて、みど
りの南に行く方は、どうしても分校じゃないですけど、そういう認識でいて
くださいねっていただいているので、どうしてもこの考えになっちゃって
いるのかなっていうふうに思うので、市として、みどりの南を建てるにあ
たっては、どういった認識というか、考えでいるのかなって思います。そ
こが明確にできれば、やっぱりクローバーはいらないよねとか、はい。南
小さんのこともきっちり考えたほうが良いよねっていうふうに見えるのか

なって、私たちもすつとこう、受け入れられるのかなって思う部分があるので、ご説明いただけたらなと思います。

事務局：基本的にはみどりの学園が多くなってくるので、学校を建てるっていう形で、今回の学校はなっています。ただし、見ていただいた通学区域の通り、小学校区がそのまま中学校区にっていうわけじゃなくて、谷田部南小も中学校はそちらになるよっていうことになるので、完全にみどりの学園を分離した学校ですっていうのとは少し意味合いが違うかなとは思いますが。分離は分離なんですけども、そこに学校も1つ入った形。小学校は完全にみどりのの分離になりますけど、中学校が今の義務教育学校とは違いますから、併設の中学校ですので、中学校に関しては、分離プラス、新しい学校も入った中学校になりますっていう意味合いになるかと思います。小学校だけでいうのであれば、みどりの学園の分離にはなりますけども、中学校もありますので、今回は中学校の方は分離プラス新たな学校も入った学校になります。

委員長：ありがとうございます。このデザインの校章を考える時点で、小学校と中学校とそこのデザインもちよつと重要視じゃないですが、その小学校と中学校の意味合いが違ってくるのであれば、校章もそれぞれにきっちり考える。例えば小学校は分離の考えがあるので、クローバーを使ってもいいよねって。子供もいっぱい案が出ているからいいよね。でも中学校は南小さんも通ってくるっていうことがあるので、クローバーは入れないほうがいいよねっていうふうになって、中学は中学、小学校は小学校の校章をきっちり2つ作るっていうのがいいのかなっていう考えも見えてくるのかなって思いました。いかがでしょうか。

委員：はい、先ほど言っていたような、感覚にもなるよなっていう感じではあるんですけど。分離って言われたら確かに子供たちの気持ちを考えたら、やっぱり本来ならみどりさんに通っていたいけれどもっていう感じだと思います。

うので、そこはクローバーは使っていないのかなって。でも、そこから新たな中学校みんながみんな新たな中学校に行くんだって思うのであれば、違う校章の方が気持ち新たにできるのかなって思います。

委員長：はい、どうぞ。

委員：です。学校の名前を決めるときにみどりの第2っていう呼び方があって、いや第2じゃないよ。新しい学校だよっていうのが、そのイメージをつけるためにあんまり第2は使いたくないねという話し合いがされたと思うんですけれども、それを踏襲するならば、やっぱりそのマークの方もみどりの学園に分かれたのかもしれないんですけど、引っ張られないほうがいいよねっていう、その辺慎重にしたいよねっていう話もやっぱりあるのかなというふうに思います。けどやっぱりその心情的に学務課の方からも聞いたんですけれども。どういうふうなこの方針というか、見せ方をするかとかその辺によって、やっぱり変わってくるのかなというふうに思います。

委員長：はい、ありがとうございます。ちょっと難しくなってきましたね。どういう学校づくりをするのかっていうところまで行ってしまう。そういう感じだと思います。あくまで一委員としての意見ですけど、新しい学校を作るんだから、もちろんそこがナンバーワンにならなきゃいけないわけで、通う子たちにとってはですよ。みどりのは超えなきゃ駄目なんですよ。みどりの学園を。そこの行く人たちは。という気持ちで来てもらいたいし、多分集まってくる教員だって、そういう気持ちでやると思うんですよ。私たちがナンバーワンだっていう。そうなるって新しい学校づくりをする。もちろんみどりの学園のいいところと、谷田部南小のいいところを取ってこうするんだから、教育課程も似てくる部分はあると思うけど、だけどナンバーワンになる。新しい学校づくりってなると、元のイメージは私はない方がいいとは思っています。全く新しいもので勝負したいなっていう気持ち

ちがあるので、気持ちっていうかそういう考えです。はい。一委員としてね。はい、お願いします。

委員：新しい学校を建てるんだよって言われた時に、子供への周知、子供は絶対今の学校に通いたいはずなんですよ。なので、そこを考えて、私も新しい学校を建てるんだったらまっさらの方がもちろんいいと思いますが、子供は行きたくないって言っています。なので、その辺のいろんなことを考えて、やっぱり出てきているのがこれだけ四つ葉のクローバーがあるってことは、みどりの学園にそれだけ思い入れがあるっていうことで、学年の1年生から入るんだたらいいですけど、学年の途中から変わらなきゃいけない生徒もたくさんいて、そういったこともあるので、うん。その辺も私はまっさらでもいいなって、一応保護者として思いますが、子供のことを考えると、やっぱり分校っていうイメージで仕方ないけど、行こうかなっていう。そこで、新たなお友達とか、ほぼ一緒に谷田部南の方がいらっしやいますけど、そういったこともあるのかなって、ふと惑わせの意見で申し訳ないですが、そう思いました。

委員長：はい。そうすると、ご意見いただいて、ここで大人の意見でこれ使ってくださいねとか。これは使わないでくださいねってやっちゃうよりは、もう出てきたもので。学校のこれからの成り立ちとか、そういったこともご説明した上で、作っていただく。モチーフってさっき出たけど、校名は入れるけども、僕らがここで何かしてしまうんじゃないかと、これそのもので、デザイナーさんに感じたところで作っていただくっていうのが、その方がすべての子供たちの考えとか願いをもって書いたものをデザイナーさんが感じ取って作ってくれるのかなっていう気がしてきましたが、いかがですか。はい、お願いします。

委員：応募数の結果なんですけども。その数で見た場合、そのみどりの学園の方が多分、その南小とみどりの学園の数っていうのは、数で見るとみどり

の学園の方が多いので、その気持ちが入ってクローバー。でも南小の方は、人数少ないけどもきっと南小の子たちも自分たちのその校章とか気持ちが入ってるマークがいっぱいあると思うんですね。何かその辺、南小の今の校ってどんな感じなんですか。ちょっと後で調べてみればいいんですけど。なんかね、そういうのもあるのかなと思って。南小の校章もまた別でもらって、それもデザイナーさんに渡してもらって、両方の良い所を取ってもらいたいなことも可能なのかなと思ったんですけど。

委員長：デザイナーさんにはここで出てきたようなご意見を正確に伝えて、みどりの学園の子供たちのが母数が多いので、そういったこともすべてご説明をした上で、作っていただく。

委員：南小のイメージ方は筑波山です。筑波山に谷田部南の谷南なんていう字が入っている。筑波山にストライプが入っているような校章なんですけど。そんな感じですか。はい。

委員長：子供たちや地域の方が書いてきてくれたものからインスピレーションもらって作るわけですね。だから今から校章を掘り起こしても多分、しょうがないと思うので、子供たちは地域の方がこう書いてくださったところからパーツをとるインスピレーションを与えてもらって、作る。イメージになると思いますが心情とかここで出てきた意見をきちんとまとめていただいて、それも添えて作っていただくことでよろしいですか。あれを使っちゃいけない、これを使ってっていうのはやっぱりなしにするけれども、よくご説明した上で書いてもらおうと。校名は入れる。ひらがなか漢字か英語かイニシャルか分からないけれども、それもデザインとしてお任せして作っていただくということで大丈夫ですか。そういうふうに言ったものと全くフリーなものということで2点作っていただくということでいいでしょうかね。3点全くフリーと他2点。モチーフ指定はもしないということになるんでしょうかね。

委員：モチーフ指定は特にしなくて大丈夫ですか。

委員長：はい。しないでいいですよ。全くフリー。校名は入れて、説明を聞いた上でという限定されたもの2点ということでお願いします。これでよろしいでしょうか。はい、お願いします。

委員：小学校と中学校のデザインが違くなるってなると、その数だと多分分けるとなると少ないのかなっていうふうに思います。1人2点ずつだったらわかるんですけど。1人2点お願いしますってなると、小学校バージョン、中学校バージョンってなるのでしょうか。

委員長：それ考えていませんでしたね、今ね。小・中は学校の成り立ちからすると、別々の方がいい。

委員：何とか学園の下に、みどりの南小学校とみどりの南中学校が構成されて、それ以外の小学校、中学校はその何とか学園の下には来ないという理解なんですけれども、そうすると1つの何て呼ぶかわかりませんが義務教育学校ではない1つの学校体っていうんですか、になるのかな。だから、場所も一緒だし、名前も一緒なのであえて分ける必要はないのかなと個人的には思いました。

委員：今おっしゃられたのは、谷田部中学校は頭に何とか学園谷田部中学校って入っていると思うんですよ。なので、今回のこの谷田部南小学校と中学校は、何とか学園何とか小学校、何とか中学校になるのであれば、同じ母体だから1つでいいんじゃないかっておっしゃったんだと思うんですよ。それが市としてあるのであれば、提示してもらわないですけど教えていただければ、もう1個でいいんじゃないかっていう案ですね。

委員：はい。

事務局：学園名っていうか、小中一貫には変わらないです。みどりの南小と谷田部南小とみどりの南中で1つの小中一貫です。その何とか学園になるかっていうと、まだ名前までは決まってないのでどのような名前になる

かはまだ何とも言えないんですけども、今回見本でお渡ししている研究学園こちらと同じなので、研究学園小学校と研究学園中学校ですけど、こちらはそこに小学校がもう1つ入っているのと同じですかね、隣同士の学校です。

委員長：はい。お願いします。

委員：。学校のやつってやっぱり1年生から9年生までっていうふうを考えるのであれば同じでもいいのかなとは思んですけど。

委員：存在するんですよ。だから何とか学園の中に谷田部南小とみどりの南小があって、みどりの南中にその2つの小学校から上がっていく。だから3校で学園が構成されているってことですよ。

委員：1つの学園に3校あって、谷南と新しい小学校とそれぞれ校章があって、中学校に上がっていくっていうイメージでそれぞれあるっていうことも考えられるし、同じ敷地内のその新しくできる小・中は、校章が1個でもいいかなっていう考え方もあると思います。はい。

委員：です。先ほど市の方からは、小学校と中学校は別だっておっしゃったので、みどりの学園は1年生から9年生までの学年単位になりますが、今回みどりの南の子は1年生から6年生までで卒業式をして、また新たに入学式をして、みどりの南中学校に入学するっていうイメージなんですよ。なので1年生から3年生までっていう規定というか、普通の小学校・中学校の学年単位になるんですよ。まあ、7、8、9年生ですけどね。どの学校も今は一貫教育だから例えば他の単独の中学校も、7年生から始まる。

事務局：はい。7年生から始まっています。基本的に谷田部南小で考えてもらおうと、次が谷田部中学校ですよ。それが遠くにある。それが今回隣にありますよっていうのが、みどりの南小学校、みどりの南中学校ですかね。義務教育学校って1つの建物で、みどりの学園では同じですけど、1つじゃないので校舎も別々になりますので、それが隣り合っているっていうのが

今回の学校です。

委員：構造は理解できて、今まであまりきちんと理解してなかったので申し訳ないんですけども、じゃあだから別にするかっていうと、やはりもっと戻るとみどりの南小学校、みどりの南中学校を同時に新設で開校して、敷地も同じ、名前も同じ、校章だけを分ける必要性というのはあまり感じないのと、例えばこの次に議論される制服、体操服についても、人数の比率はわかりませんが、1つの学園を構成するなんていうか、同じ敷地に立っている学校で、小学校から中学校に当たるにあたって、すべて変えなきゃいけないような、そういうコンセプトではないような気がする。あえて別々のものっていうものを作る必要はないような気はいたします。

委員長：はい、お願いします。

委員：逆の意見で、小学校は小学校、みどりの学園は、敷地の中で学園というコンセプトの上で1年生から9年生までがずっとエスカレーターじゃないですけど行っているっていうイメージで、私は県外に2年前にいたので、自分も1年生から6年生まで小学校が隣の公立の1年生から3年生に通っているというコンセプトにいたものですから、今回これ小学校と中学校が別の建物であって、同じ敷地内にあるけれども、別物できっちり入学式、卒業式も行われるっていうことであれば、きっちり別でやった方がすっきりするのかな。小学校のモチーフはこうだよ、中学校は隣にあるけどね。中学校のはこれだよっていうふうにした方が、気持ち的にすっきりするのかなって思います。

委員：はい。もし自分がデザインをする立場だったらっていうふうに考えてみたんですけど、今の皆様のご意見をやっぱりいろいろ伺っていると、小学校はみどりの学園から分離というか分かれてくるよっていうイメージが強いと思うので、小学校の方はそのクローバー的なものを強調して、中学校の方はできればこちらの谷田部南小学校のモチーフとみどりの学園さ

んのモチーフを上手にこう組み合わせさせていただいて、両方同じぐらいのイメージというか分量というかそういうふうに入れていただいたら、子供たちも納得するのかなとは思っています。だから、何だろう、もともとのアイディアはみどりの南小学校もみどりの南中学校も同じデザインなんだけれども、小学校の強調部分と中学校の強調部分が違うみたいな感じでデザインしたらいいのかなって考えました。はい。以上です。

委員長：他にありますか。はい、お願いします。

委員：谷田部南小学校は、昔、谷田部小だったのが、谷田部南小学校に分離したんですね。でも多分校章は違うんですね。うん。だから別々でもいいのかなっていう部分もありますね。やっぱ南小は確かに中学校に上がると全然校章が変わるっていうのは、確実なものなので、多分みどりの学園さんのその子供たちの声とか、保護者の声とかをやっぱりよく拾ってあげたほうがいいのかないかなっていうのは、あるんですけど、そういうのは難しいですよ、別物って考えたほうがいいのかもしいし、先ほど言っていたみたいに同じ敷地内だし、交流っていうのは確かに多分あるとは思っています。繋がりを考えると同じっていうのもある。やっぱちょっと難しい問題かなとは思っていますけど、成り立ちとかそれから2つの小学校があるっていうことを考えると別々でもいいかなっていう気もします。

事務局：はい、事務局です。今回、参考で多分研究学園のお出ししたので、それにつられてしまうと混乱してしまう部分があるかなとは思っていますけど、研究学園は今回同じように小中で併設ですけど、みどりのとは違います。研究学園小学校と研究学園中学校の1小1中しかないのも、みどりのとは違います。みどりの南は2小1中ですので。併設だとしても、隣の小学校だけが隣の中学校に行くっていうのは研究学園ですけど、みどりの南は隣の小学校だけじゃなく谷田部南小も一緒に中学校に来るっていうので、そこは新しい学校でもちょっと違う部分があるので、資料としてお出

ししましたけどもそこで少し混乱する部分もあるかなと思いますので。

委員：。はい。小学校・中学校の最終的なデザインの決定はまたアンケートによるのかなと思うんですけども、アンケートの投票者は小学校の校章も中学校の校章も同じ対象。1年生から9年生、もしくは南の1年生から6年生、どちらもっていうことになるんですか。

委員長：それについては今後話し合いするよね。アンケートに答える人ですよ。そうですね。最終決定権を持つ人々は誰かっていうところだと思います。それは今後の話し合いになるかなって思います。まずは小中別にして、それぞれデザインを作っていただくかどうかというところかなと思います。

委員：仮に小学校・中学校で違う校章にする場合、結構大変だなと思うんです。どういうカウントになるんですかね。今、例えば3名で2枚作ってもらうのが、6小学校、仮に別にした場合は全く違う6中学校で、それぞれ1票ずつ入れるっていうことになるんでしょうか。もし似たような場合っていうのはこの研究学園みたいに一括で6つの選択肢から1票っていうことになるんですよ。

委員：多分それぞれに、小学校の案は3人の方が6つ出しているのの中から選んでください。中学校はまた来ましたよ、3名の方が6つ出しました。その中から1つ選んでください。どれが一番よかったですか。じゃあ小学校はこれで、中学校はこれですっていうふうに決まると思います。

事務局：この先アンケートのやり方を皆さんで決めてもらうとは思いますが、そこがあなたたちは小学校、あなたたちは中学校ってやるのはどうかなって思うのが1つと、例えば、2つずつで小学校6点、中学校6点から選ぶんですかっていう質問については今お話されている小と中を別々でお願いするんですかっていうのが決まれば当然アンケートも別々になると思います。当然違うものが来るので、そこが今お話されていてどうしまし

ようっていうことだと思うので、それが決まれば、当然、2点ずつお願いすれば、まず小学校の6点から選んでください、中学校の6点から選んでくださいっていうことになるかなとは思いますが。

委員：これを募集する時は小学校、中学校それぞれに書いてもらったんですけど。それとも合わせて1つを出していただいたんですけど。

委員長：小・中分けてデザインしてないですよ。1つでした。もともと小・中分けてのデザインじゃなかったですよ。1個作っていただくということでした。ただ学校成り立ち。そこを考えると、あとは義務教育学校じゃないってことを考えると別々にあってもいいのかな。だからこのデザインから、小・中のものをイメージして作っていただくってことになるか、1個にする。同じ敷地内にある2つの学校だから、変えることもないだろうと。全くデザインがこう全く違うものであることの方が、何かこう、違和感がある。別々の学校だからそれもあるでしょうけど、違和感が生まれるようなことが、もしかしたらアンケートとった結果から出てくる可能性ありますよね。もし中学校は中学校、小学校は小学校で選んでくださいって言ったら。関連性とか同じデザイナーさんだからって選び方は多分しないと思うので、それぞれいいなっていうのをチョイスして、来るから、全くこの違った校章が並ぶ可能性も出てくるだろうかなっていう懸念はありますけれども。はい。そういうことも踏まえて、それではどうですか。はい、お願いします。

委員：先ほど事務局が言っていたように2小1中っていう感覚であると、やっぱり谷田部南小は中学校に行く。でも、みどりの南小さんは学校が隣にあって中学校にそのまま行くってなると、やっぱり校章は別の方が谷田部南小側からすると何か違う方がいいなっていう感覚はあります。なので、中学校は別、小学校も別で作っていただいた方が何となく疎外感っていうのかな。同じものが並んでしまうと2小1中っていうふうに考えているんで

あれば、ちょっと疎外感を感じちゃうのかなってというのが、はい。あります。

委員長：いかがですか。

委員：よくわかります。一方で、先ほど委員長がおっしゃった、ちぐはぐなもの。そこは、避けたいなという思いはあります。せっかく新しい校舎が建ちました。校章はこれとこれですって言って、何か違うものになると何か民主主義の失敗みたいなところに落ちちゃうような懸念がすごく感じるので、例えばもちろん全く同じものである必要もなく、さっきおっしゃったように、類似しているけれども、違うもので、1つの案。ツーペアで作っていただくってことはどうでしょうか。1人のデザイナーさんに2枚作っていただくのを小・中同じではないけれども、一定程度の統一感なりが保てるようなワンペアで作っていただいて、投票者はそのペアとして見れば、中間的な解決ができるのではないかなという気もしました。

委員長：別々ではあるが、どこかに統一感がある。というのがわかる。というお願いの仕方ですね。まず、これから小中別に作るってことでよろしいですか。はい、お願いします。

委員：これは別の案だということで、1つの案としてお聞きしていただきたいんですが、例えば先ほど小学校が分離という形で、南小さんに行くということで、クローバーをモチーフに学校名を何か入れて、小学校案で1個作ってください。あともう1点は例えばクローバーと先ほどおっしゃっていた筑波山をモチーフにして学校名入れて作ってください。それが中学校用です。あとはもうフリーで作ってくださいって、その4点を私たちが全部で12点を協議、この次として、色とか変更していただいて、デザインのところをってということで、アンケートに落とすってことを考えると、私たちが大変とかそういうのではなくて、1つの案としていかがかなと思って、お話ししました。小学校用にクローバーをモチーフに学校名入れてく

ださい。中学校はクローバーと筑波山、クローバーなのか筑波山のそれはまだあれですけども。あとフリーで作ってください。フリーは中学校用に作れば、意図はどういうふうに協議していただければと思うんですが。以上です。

委員長：デザイナーさんに意図が伝わるように説明するのは、難しいけど、それはきちんとやるしかないと思うので、まずは、小中別に作っていただくと。どこかに統一感があるように作っていただくということでよろしいんですか。はい。

委員：先ほどおっしゃったのは、4点作ってもらったとして、アンケートに落とし込む前に1回我々でもむということでしょうか。

事務局：事務局です。よろしいですか。今いろいろやっていただいて。うん。難しいんですけど、この先のアンケート今確かにそうなんですけどアンケートのことも考えてもらいたいのは、対象となる数がどれだけになるかと先ほどお話があった通り、デザイナーさんが専門の方じゃないので、いっぱい頼んだ時に1ヶ月で作ってもらえるかっていうのはこちらでも何とも言いがたい部分があります。1、2点、例えば最初の2種類学校名とモチーフを作ったものと、フリーで作ってもらっていうのを小中別だと1人で4つ作るわけですよ。それで、カラーと白黒なので、白黒はそれをカラーを抜けばいいんですけど8点なんですけど。それを1ヶ月ぐらい仕事をやりながら作ってもらえるかっていうのは、こちらでもちょっとわからないので、お願いしたけども、もしかすると2つまでしかできませんでしたって言ってこられる場合もあります。その辺も含めて、考えていただいた部分も必要かなとは思いますが。なお、お願いするのはお願いしますが、それが全部返ってくるかっていうと、それは難しい部分になってしまう。お願いすると多分、頑張りますって言うってくれるのかもしれませんが、その辺もあるかとは思いますが。

委員長：はい、お願いします。

委員：はい。今の事務局さんのお話よくわかったんですが、とりあえずこっちからは投げてどう返ってくるかはそのデザイナーさんの結果待ちっていうところもありますけど。こっちとしてはきちんとこうして欲しいよってことで、小学校に2点、中学校に2点分けるんだっただけですよ。4点きっちり作ってくださいねって投げて、こっちの思いは伝えたほうがいいのかなって。ここで妥協して、じゃあ1点ずつにしてもらおうよっていうよりかは、4点やってくださいねっていうことをきっちりお伝えして、返ってきた結果で、また考えるってした方が私的にはいいかなって思います。

委員長：小中別に作るんですけれども、どこかに統一する統一した感じがあるっていうものができますよね、まず。セットが。それセット1ですよ。全くフリーのセット。フリーの小中のセットが1個できますよね。4つのかけ合っただけのことですよ。1人4つ。それでいいんですよ。いかがですか。だから、小中が余りにもかけ離れたデザインが選択されるってことはないですよ。うん。もう1回言うと、全くフリーの小中セット。モチーフというかどっかに統一性を持たせてくださいって説明して作ってもらう小中のセットを4点作っていただくと。アンケートについては、そのセットで選んでもらうってことですよね。それでよろしいですか。セットで選んでいただく。それとも、セットを外して小中のものを選ぶってことですか。それはないよね。どっか統一性がないといけないんだから。どうですか。

委員：はい。例えば、先ほど谷田部南さんのお話であれば、きっちり分けてもらう方が疎外感がなくていいよっていう例えば統一感を持たせると、これをあのクローバーが小学校から上がってくるとするじゃないですか。そうすると中学校ではクローバーは使えないですよ。だって統一感はどうかってそれはやめて欲しいなっていう。Mだったら南のMでもあるし、み

どりのの M でもあるから。それは納得じゃないですか。だから、その辺は小学校だったら小学校一緒に選ぶんじゃないかって、よーいドンでどれがいいですかっていうのも、もうセットで選ぶのではなく、別々の方がいいのかなって。その方が公平じゃないですけど。うん。いいのかなって思います。ただ母数が少ないので、どうしてもそっちの谷田部南さんの意見が反映しにくいっていうのはあり得ることかなとは思いますが。アンケートの結果です。

委員長：一応セットでは作ってくるけど、アンケートは、そのセットが外れて選んでも良いということですね。はい。わかりました。

委員：私はセットであるべきだと思います。モチーフに対する統一感ではなくて、全体のイメージの統一感という意味で、セットがよろしいんじゃないかなと思います。そのあと、また製作に入った時に小学校はこのデザイナーさん、中学校はこのデザイナーさんというわけではなくて、最終的には1人の方をお願いするということにした方がよろしいんじゃないかなと思います。

委員長：はい。お願いします。

委員：デザイナーが3人なので、ABC 群で分ければ、まず一段階目の選択肢のABCで分ければいいと思っています。そうするとテイストは揃いますと。Aのデザイナー、Bのデザイナー、Cのデザイナーどれがいいかと。それで2パターンずつ。小学校2つ、中学校2つ出ているので、そのAのデザイナーさんの小学校は1番、中学校は2番。ちょっと番号はあれですけども、そういうふうに分ければ例えば先ほど保護者さんからもらったこのデザインの紙を見ると、1番と3番では大分テイストが違ってくるので、これが先ほどの統一感がなくなってしまうってことだと思うんですけども、例えば1番のデザイナーさんのやつを選べば、そこら辺は揃ってきていいのかなと。ただそのアンケートのフォーマットというか、出し方によってそ

う複雑になってくるので、その辺どうかなというふうに思うんですけども。

事務局：説明がうまくできるかわからないんですけども、2つに1つのような気がするんですね。もう小と中を別々に作るのか、統一感を持ってっていうことであれば、例えば研究学園のこの皆さんにお渡ししている見本、実際にはこの4番のやつなんですね。この4番っていうものは小と中で、部分的に変えているけども、ほぼ統一感を持ってっていうことになっている感じになるので、統一感を持つっていうことでさっきのように、小学校に仮にみどりのがわかる部分ってことになれば、モチーフこれ鳥の部分が共通を同じようにしてるので、それ以外のところを小と中で分けてくださいってのは多分統一感を持って小と中が別々ってのはこういうことだと思うんですね。それで小と中がまるっきり別っていうのであれば、小学校は4番の上なんですけど、中学校は5番の下のところを作ってきてくださいってというのが、これが別々のものになると思うので、その場合はアンケートがまさしく別々に、小はこの中から選んでください、中学校はこちらから選んでくださいってアンケートの方法になると思うんです。4番のようになるのであれば、そもそも別々に作ってきてくださいっていうことが、どういうふうに伝えるかっていうことになってしまうと思うのでアンケートも作って統一感を持ってくるのはこういうふうに作ってきますから。4番がいいですか、5番がいいですかって選び方になってくると思うんですね。統一感を持ってやることになるので、同じように5番もこれは小と中でちょっとだけ違うような形で作ってくるので、アンケートもこんなふうになってくるってのが、今後なので、それはアンケート取る時に皆さん考えてもらいますが、もう頼み方で先のアンケートは決まってくると思うんですね。その最初の頼み方をどうするかっていうことかなと思います。

委員長：はい、お願いします。

委員：です。パターンを絞るっていうのはどうでしょうか。今2つとか3つず

つ、1人のデザイナーさんをお願いしようとして、それが小・中別れると、もう4つとか6つとかになっちゃうんですけれども、それをもうデザイナーさんのコンペというかテイストのコンペになっちゃうんですけど、1人1パターン、小学校と中学校だけで、渾身の作品を作っていただきまして、そこから選んでいただくとか。そうすると、ばらつきはなくなるのかななんて思ったんですけど、ちょっと極端ではあるんですが。

委員長：デザイナーさんにもう、これっていうのを小・中別に作っていただいて、3人から出てきますよね。そうしたらそのデザイナーを選ぶ。1人のデザイナーをチョイスするっていうこと。そうするとすとセットってことですもんね。

委員：はい先に南さんで、この研究学園がこれって決まったそうなんですけど、これを見たときに、新しくできるところも、こういうテイストでいくとするじゃないですか、統一感を持ってってことなので。小学校の方にはこの桜のところ例えばクローバーになっていると。この中学校の方にはそのクローバーはなしになっているということで、これ見たときにどうですか。ぶっちゃけっていうか、今、がしつと言ってくださった方がいいのかなって思います。私はこれを見たときに一緒だっていう感想なので、はい。

委員：すいません。依頼の仕方難しいとおっしゃるのは本当にそうだと思うんですけれども、統一感を持ったセットって言った時に、これをイメージしていたわけではなかったと思うんです。これは基本同じもの。似たように作ってくださいという依頼だったとすると、そうではない形で、違うモチーフを使うなりして、異なるデザインで、作ってくださいってそれをワンセットとするっていうのが、今回先ほど出ていた話だと思うんですね。ただ、それも依頼の仕方によっては、こういったものが出てくる可能性があるんだとすると、難しいのかなという気もいたしますけれども。決してこれを今の話の中で、目標としていたものではないという理解です。

委員長：一部を変えるっていうんじゃなくて、南小もあって、みどりの南小もあって、新しい中学校があってという、そこに統一感を出すってことですよ。谷田部南小の人たちが、何かこう疎外感があってはならないし、それで学園なんだから学園として統一感が出るように、みどりの南小もみどりの南中も作って、それで、こっちから分離していくんだっていうニュアンスもあるんだから、それも含めて作ってっていうことですよ。2校だけが統一感があってはならないと。3校合わせて統一感出すようにすると。はい。

委員：今どうしても引っかかってしまうのが統一感のところでご説明があった小学校と中学校のコンセプトが別物だって事務局さんがおっしゃったのに、先生も、今みどりの学園は、中学校の先生が小学校におりてきて教えたり、職員室も一緒ですけど、この南は別物なので、小学校は小学校の先生がいらして、中学校は中学校の先生がいらして、そこから、して下さるってことなので、学園ではないような。私の中では小学校は小学校、中学校は中学校でたまたま土地の問題で、隣同士だっただけで、本当は別のちょっと違うところにあってもよかったんだけどっていうテイストでいたい。だから小学校は小学校、中学校は中学校だよっていうコンセプトなのかなっていう市役所さんの説明を、そう取っているんで、学園ではないのでもちろん上がっていくので、でもわからないしね、中学校で受験される方もいらっしゃいますし。違うところにいらっしゃる方もいるので、その辺の取り方っていうのはそれぞれご家庭によって違うのかなと思うんですが、公立の小学校なので、小学校は小学校、中学校は中学校、新しくできる小学校、新しくできる中学校っていうコンセプトなのかな。なので、どうしてもそこが私は引っかかってしまいます。学園ではない。でも何とか学園は頭につくよとおっしゃったので、輝翔学園みたいな感じで。なので、そこは引っかかります。

委員長：市としては、小中一貫教育を進めているんですよね。だから分離していたとしても、小中一貫教育は残っている。

事務局：今の学校、分離型の学校が今つくば市にはありますが、それぞれいいところがあるので、いいところを取ったものが今回併設するという形で離れていた小学校、中学校。一体型ではないので、小中一貫をやる。

委員：今の説明であれば私の認識違いで申し訳ないんですが、今のお話であれば、統一感があって、なおかつ南さんが疎外感を感じないテイストでいくのがベストなのかなって思います。そうすればややこしくない。

委員長：はい。一貫教育は生きているから、1年生から9年生までストレスなく学んでいく。今日、その教育課程って言いますが、教育課程が一貫している。それは、みどりの南小、中だけじゃなくて、谷田部南小も同じだ。だから谷田部南小でやっている教育の内容と、みどりの学園でやってる教育を、違和感なくこの新しい学校が、取り入れた小中一貫教育の学校になるわけです。谷田部南小も含めて。だから、今おっしゃられたように、新しい新設校が2つできるけど谷田部南小さんも違和感を感じないような一貫教育でなければならないので、できる限り、そこの疎外感が生まれないような、この後の制服の話にもなったりするんだろうけど、制服とかジャージとか、校章も含めてそうあるべきだろうねっていうふうには思います。となると、デザイナーさんには難しいかもしれないけど、3校が1つなんだよっていう新しい学校だからそれぞれのコンセプトあるんだけど、3校が違和感なく、過ごせるようなイメージの校章にして欲しいな。というお願いになるかなっていうふうには思います。

委員：もうすでにお話し合いもされたものをなぞって聞いてしまうかもしれないんですが、研究学園の方を決めた時に、デザイナーさんに依頼した依頼の仕方としては、どういうふうにされたのかなと。どれを見ても、一部だけを変更して、同じものが出てきているじゃないですか。ここに至る経緯

として、こういう研究学園に関しては1個のモチーフを部分的に変える形で、小・中作りますっていうのが、お願いで入っていたのか、それとも統一感とだけ伝えたら、全デザイナーさんがこういうふうに作ってきたのか。そこがちょっと気になりました。

事務局：はい、事務局です。研究学園の場合なんですけども、統一感を持つてというわけではなくて、モチーフとして1点はフクロウ、1点はテーダ松で、点はフリーでっていうことで依頼しました。特にその時も小・中で分けてというようには頼んではないんですけども、このように1番、2番みたいに似たような形で、デザイナーさんの方は作ってきていただきました。

委員：わかりました。統一感ってだけ伝えると、デザイナーさんは我々よりもプロなので、例えば、こういった形でこれを多分見せちゃうと、小・中をちょっと変えた形での同じものっていうのが出てくると思うんですね。ですけど、単純に統一感って言うと、もっと我々が想像できないような統一感のものが出てきたりとか、2校の校章を重ねるとこういうふうになりますとか、何かそういうものも出てくるのかなと思って、委員長がおっしゃったように、3校のデザインを3校のイメージを合わせた形でお願ひしますって伝えれば、何かいいものが出てくるんじゃないかなとちょっと思ったりしました。

委員長：はい、ありがとうございます。それでは、大分長くなりましたが、まとめると、3校が違和感なく過ごせるように、校章をデザインしてもらいたいということですね。もう大ざっぱですけど。それをフリーと何かモチーフを持って、お願いする。2種類作っていただくと。いうことになりますがそれでもそれでよろしいでしょうか。モチーフですけれども。名前を入れると、学校の名前を入れていただくとそれはひらがなのか漢字なのか、イニシャルかわからないけれども、入れていただくと。

委員：先ほどあったのは、小学校はクローバーとかみどりの学園のようなもの

を入れて、中学校の方は南小学校のものとみどりの学園のものをミックスしたもの入れましょうみたいな話になっていたっていうのはまだ生きてますか、それは。

委員長：はい。大ざっぱにね。そうすると、南小の子供たちから出てきたものとかみどりの学園の子供たちが出てきたもの、それからそれぞれの校章とか、学校の沿革とか、そういったところから、イメージして作っていただける。名前は入っているものを1つ。それとフリーということよろしいですか。だからあれですよ。一部変更したものとかじゃなくてってことですよ。そうしないと研究学園と同じようなものが出てくる恐れがありますよね。統一感は何かっていうのは、デザイナーのセンスですか。デザインのセンスでしょうよね。統一感があるってこと。そういうコンセプトでお願いしているんだから、それぞれが感じるものがこう違うわけですから、やっぱりデザイナーさんで選んでいただくってことになりますよね。セットで。はい。

委員：そしたら2パターンのデザインを選んでもらう。全部で6パターン出ます。組み合わせでこのセットじゃない。こっちのセットの小学校とこっちのセットの中学校みたいな選び方もあると。出てくると思うんですけど。そこで番号ばらけちゃって、何か理解できなくて、1番と9番みたいなふうになっちゃった場合、デザイナーも変わっちゃうし、その辺は大丈夫なのかなど。

委員長：私のイメージではそれぞれのデザイナーさんが全くフリーのセットとそれから、学校名入れてくださいね、あとは、沿革とかそういうのから拾ったイメージで作ってくださいねってある程度限定したものが、2種類出てくるわけですよ。2セット。2セットのセット中には3個あると。中身が3個入りのセットが2つ出てくるわけですよ。各デザイナーさんから。フリーはフリーでいいでしょう。フリーが3個。それから、それぞれ

の3つ並ぶと全部で6個ですよ。全部で6セット。その6セットの中から、どれを選ぶかっていうことですよ。違うのかな。だからセットを超えてのAセットとBセット、Cセットのそれぞれを選ぶっていうわけじゃないですよ。コンセプト上そういうことじゃなくてですよ。投票はこの6個あるセットの中からどれがいいですかっていう選び方になりますよね。でないとおかしいですよ。デザイナーの意図がこの3つのセットの中にあるわけだから。そのセットを外しては選べないっていうことですかね。だから6個出てきたらこの6の中から1個選んで欲しいっていう、そういうアンケートになるということですよ。よろしいですか。統一した考えを持って小中って多分作る。形はすごい違っているかもしれないけど、そのデザイナーさんの考えでこう作るから、この関連性は外せないんじゃないかな、デザイナーさんとしては。はい。なので、セットで選んでもらうっていうイメージになるかなって思います。はい。よろしいでしょうかここまで。これでいいですかね。デザイナーさんには、全くフリーの小学校、中学校のデザインと校名を入れてください。あとは、子供たちのデザインとか、学校の沿革とか、それぞれの校章から、イメージを持って小中のセットを作ってくださいと。だから、2セットで4つのものを作ってください。ていうふうにしないと、谷田部南小だけちょっと違っちゃう。フリーのセットも、制限したセットも、3校で1個なんだよっていう、それは外せないかなと思います。

事務局：事務局です。ということは、3校での学園なんだよと説明した上で、1つは学校名が入るものにしてもらって、1つは全く自由に作ってくださいっていうことになった上で、それでいくと、例えばですけどさっき4番って出しましたよね。校名を入れるっていうお願いした場合に4番のパターンを作ってくる場合もありますし、フリーでってなった時にはその人が、4と5をかけ合わせたものを作ってくることもありますけども、それが例

例えば、校名を入れたパターンとして、例えば4をAとしますよね。で、フリーで作ってきたのと4を合わせたのがBとしますよね。同じようにABCDってずっと3人いますから、6個できますよね。それで選ぶとアンケートは、Aが良い、Bが良い、Cが良いっていう選び方をアンケートではするってことでのお話ですかね。今回頼んだ時に、例えばその2つを作ってくる時に、お1人の方が、小と中を少しだけ変えてくるかもしれないし、フリーは全く変わるかもしれないけど、もしかしたらそんなに変えないで作ってくるかもしれないっていうのが、3人がそれぞれみんな同じように作ってくるかもしれないし、お1人の方は全くバラバラに作ってくることになるかもしれないけども。選ぶときには、1人の方が2つ作ってきますから、1番にするか、2番にするか、3番にするかって6番まで、3人で6番までありますよね。1人目の1番、2番、2人目の3番、4番の中でどれにしますかっていうアンケートを取るっていうようなイメージでよろしいですかね。1、2、3、4、5、6ってあるけども、小学校は1番です。中学校は2番ですっていう選び方はしないで、どれがいいですかって選ぶ。1人選ぶのは1回きりという形になるので、そういったお願いをするような形でよろしいですかね。デザインの的にはバラバラになる場合もあるし、統一感はちょっとだけ変わった形で本人さんたちが作ってくるかもしれないけども、それで選んでいくっていう形で。

委員長：一部変更しただけだと、谷田部南小さんに違和感が出てしまうのでそこはしっかり説明しないと。

事務局：3校の成り立ちを全部お話した上で、フリーの場合については、それは作ってくる方次第になってしまうと思います。3校で学園にしていますよっていう、その統一感っていうのが、極端な話ですけど、丸の形の中で、小学校と中学校を違う形に作りましたというのか、校名まで入れてくださいって言った時に、先程言ったように、山とかこうあるんですけど、

その背景にクローバーが入っているのと、入っていないもので違うものを入れてきたっていう作り方になってくるかもしれませんが、お伝えした中でそのデザイナーさんのくみ取り方になると思うんですよね。

委員：極めて類似性が高い小・中の校章の場合は、アンケートの候補としては、除外するっていう条件をつけるということが可能なのであれば、その可能性を減らせると思うんですけれども。デザイナーさんをお願いするにあたって、出てきたものをアンケートに載せないというのは非常に失礼なことにはなるので、やりたくないと思うんですけれども、みんなのアンケートに出して、選ばれる可能性のある中に今ここで時間をかけて議論した、類似性の高いものはできる限り避けたいっていうここでの議論にそぐわないので、やはり依頼する時には、極めて類似性の高い小・中の案が出てきた場合には、その案は、最終投票案からは除外するっていう条件付けをするべきだと思いました。

委員長：それはどういう文言でお願いするかは、調整していく必要があると思うんですけど、わかっていたらいいような文言でお願いをするっていうことですね。わかっていたらいいような文言を工夫するってことですよ。これ依頼ってこの後直ぐに行うってことですよ。もう時間もないからね。その時の依頼の仕方については、調整する必要がありますよね。こういう文言でお願いしたいんだけど返してもらって、これが妥当だって思ったもので出していただくっていうこと。そういうことでよろしいですよ。

事務局：後程、依頼文を作りますので、こんな形で作りましたってことで皆さん見てもらった上で依頼するってことでよろしいですね。

委員長：はい。それでよろしいですか。皆さん。依頼文を確認して、それで、納得の上で依頼していただくっていうそういう形をとりたいと思います。ではそういうことでお願いします。これ大丈夫かな、これで議事の1個目は終了でいいですか。制服・体操服については、お願いいたします。

事務局：はい。続きまして2番、制服・体操服についてということで説明させていただきます。制服・体操服を決めるにあたって、まず初めにちょっと香取台と研究学園の決定までの流れっていうのを簡単に説明させていただきたいと思います。香取台と研究学園に関しては初めに新しい制服・体操服を作るか母体校で使用している制服・体操服のものを変更して使うかなどいろいろ作成パターンの検討をしました。その中で香取台は体操服、研究学園は制服・体操服ですね。こちらは新しくすべて作ることを決定し、また、高学年においては現在母体校で使っている制服・体操服あとは新設校での継続利用も可能とすることを認めました。制服・体操服を新しく作るにあたって、作り方なんですけども、制服・体操服メーカーによるコンペティションの実施を決定し、メーカーさんを何社か呼んで、それぞれ特徴のある制服・体操服をPRしていただいて、その上で委員会の中で、制服・体操服のメーカーを一社選定しました。そのあと、新設校に見合った制服・体操服を何点か製作していただき、児童・生徒さんや保護者さんのアンケートを経て、最終的にそれぞれ制服・体操服が決定しました。以上が香取台と研究学園の流れになるんですけども、今日の協議内容としましては、特に何かを決定していただきたいものっていうのはないんですけども、今回含めた年度内の残り3回の委員会で、制服・体操服の方針といいますか、新しく作るのか、今使っている制服・体操服ベースで考えていくのかなどを今後の方針を決定していきたいと考えています。今日の協議事項において特に意見とかが出るのは難しいってことであれば、次回まで持ち越していただいて、それぞれ各自考えていただいて次回の委員会でまた協議していただくということも可能ですので、よろしく願いいたします。

委員長：お願いします。

委員：質問させていただきたいんですが、今、ジェンダーが取りざたされていますので、女の子もパンツルック有り、スカートと両方選べるっていうこ

とがありますけれども、市として現行であれば、女の子はスカート、男の子はスラックスっていう制服がありますけれども、例えば市として何か。例を挙げますと、大分のことを述べさせていただくと、大分は大分市として市の教育委員会が、制服をもう男の子、女の子関係なくどれでも選べますよっていうものを作って、公立の中学校のどこでも使える制服を市として準備する。今後、公立の制服が全部一緒っていうのに変えていく方針みたいなんですね。つくば市としては今後そういった市全体としての制服を設定されるとか、そういった考えとかっていうのはどうなのかなとお聞きしたいなと思います。

事務局：はい。ジェンダーフリーっていうのはもうとても大事な観点でありまして、今市内の中学校もほとんど女子生徒のスラックス着用はOKということで対応はしております。ただ、今のところつくば市全校ですべて全く同じ制服というところまで考えてはいなくて、どこの学校さんでも、女子でスラックスも可能だというような形で対応できるようにということで進めさせていただいております。今ほとんどの学校さんの方で、女子生徒の方がスラックス着用可能という対応にはなっているかなと思います。

委員：ありがとうございます。ジェンダーなので、今はやっぱり女の方がズボンを履くっていうイメージが大きいですけども、今後男の子がスカート履きたいってなることも、もちろんありうる社会なので、そういった考えも持ってかなきゃいけないと思うんですけども、そういったことも準備としてはあるというお考えでしょうか。

事務局：はい。もちろん性自認の問題だと思いますので、そういったことも当然視野に入れた上で対応していくというふうに考えております。

委員：子が中学校に上がるにあたって制服を選びに行きました。お店に行ったら、それぞれの学校で値段が違う。値段も結構張りますので、なんでこの学校は高いんだ、なんでこの学校が安いんだ、みたいところ。わか

りませんけれども、何かそこがすごく不自然に感じていました。今ご説明あった通りすべての学校が違う制服を持っているということなので、いきなり統一というのは難しいかと思ったんですけれども、極論、どこの学校のものでも選べるとかというような自由な選択っていうのは、例えばみどりの南中学校から、可能になったらどうなのかなという気はします。

委員：先ほどの意見に附属じゃないんですけど、大分の附属中では制服がここじゃないと駄目、ということではなく、会社があっちもそっちもあって、その会社によって女の子なんかセーラー服が今は、何か細見になってるとか、そういったデザインで、金額的には全部同じ金額だったんですけど、でもちょっと高かったのかなそのすてきなデザインのものは。ですが、それはもう保護者と子供が決めてここの業者であつらえるって決めて、作ってもらうっていう方針だったので、はい。そういったあっちこっちで金額が違うっていうのは、コンペじゃないんですけど、あり得ることなのかなって思います。

委員長：もう、今日は特に決めることはないののでいろいろその意見ははい。次回もこういう形で入ると思うんですけど意見があれば。

委員：もう一つ、体操服について先日、何かのニュースで読みましたけど、今、ユニクロ体操服っていうのが少しずつ広がってきていると。手軽に買えるし、すぐ汚れて、すぐ小っちゃくなって、破れたりっていうところのお財布のところにも助かる。そういった選択肢もちょっと視野に入れてもいいのかなというのがあります。

委員：ちょっととここで意見が出たんですが、決め事はないっておっしゃったんですが、市としては、制服ありきですか。もちろん小学校から中学校に上がるにつれて私いつもみどりの学園も学園なのに、いきなり7年生から制服は変だなって、だったら小学校から作っとけばいいのになって思ったりとか、逆パターンでももちろんそうですし服なんだから、私服でいいじゃ

ないかって。もちろん私服にすればデメリットもたくさんあるんですよね。女の子は超ミニスカート履いてきたり、露出が大きくなるとか。その辺は、各家庭のモラルじゃないですけど道德の観点なのかなって思うんですが、その辺は私服は駄目だ、制服じゃないと駄目なんだっていう何か決まりごとみたいなものありますか。

事務局：はい。調べてもらうとわかるので、この場でお話しますが、茨城県内に中学校で制服がない学校が水戸にあります。ただし、こちらについては、意見が出たから、じゃあそうしましょうっていう話ではなく、1年かそれ以上かけて、生徒の中で話し合いをしながら、今言ったようにメリット・デメリットがありますので、そういった過程を経て、私服になったっていう話を聞いてはいます。確かに今おっしゃられたメリット・デメリットになるかわかりませんが、服装の華美とかいろんなことが出てきはしますが、出てくる制服は皆さん統一になりますし、先ほどの価格については、皆さん、ご自身の服でわかると思うんですけど、使っている生地とかで価格は当然変わってきますし、今までコンペをやっているってお話をさせてもらいましたが、皆さんが大体これぐらい今と同じ制服の価格ぐらいが希望かなとか何か言っていただくと、メーカーはそれに見合うものを何点か作ってきます。なので価格も皆さんにオープンになりますので、わかるような形にはなりますし、私服になった場合は、その家庭毎で毎日変えるかどうかという事もいろんなことが出てくると思います。制服は1回買うと大体、何かない限りは同じみんな統一になるんですけど、私服になるとこういったものが買える家庭と買えない家庭が出てくるので、そういったものが、私服には出てくる部分もあると思います。そういったことを含めていろいろ話し合ってくださいと、これから先になると思いますし、今ここに出してある研究学園については、そういった話も同じように出ました。その上で、私服とかになるっていうのは、皆さんでよくお子さんも

含めて話し合ってもらうことが十分必要ですよってということで、制服っていう、言い方は変なんですけど作りました。向こうでは今、標準服っていうのでやりました。それっていうのは、一旦メーカーを呼んで、コンペをして、この形っていうのは大体決めました。それで指定がしてあるのはネクタイとリボンですかね。それ以外のジャケットとパンツとかスカートについては、これが見本なのでこれを買ってもいいですよ。でなければ紺に見合うものを買ってきてもらえれば、っていうことになるので、価格が当然制服、選ばれたものを買えばみんな同じ金額ですけど、紺で見合うものってなれば、各家庭で買ってくるので、価格も変わります。ただそのときには、今回校章についてやっていますよね、校章をワッペンとして付けたっていうことになれば、メーカーとしても、メーカーが推奨しているものを買っていただくことであれば、校章をつけることはできますけど、ご自身で例えば、どっかで紺色だったらこの同じような紺色のを買ってきてもらったときには、その担当するメーカーさんでは校章はつけられないので、そういったことも含めたことを今後話し合ってくださいということになるので、いろんなパターンがあると思いますので、それはもう一度皆さんでよく話し合ってくださいが必要かなと思います。私服が一切駄目だっていうわけではないですけど、それはそれなりに今言ったように、お金がそれぞれどっちでもかかる、支出が出ますので、皆さんお子さんたちの意見もありますので十分な議論が必要かなとは思っています。

委員：私、小学校で制服があったので、すごく朝はそれきさせていけば楽なんですけど、手入れが面倒くさいですよ。アイロンかける。洗濯する。子供もスカートをびらびらさせて遊ぶのが、買ったときは新入生だと長いスカートだったりとかして掃除するときに、引っかかってこけるとか汚れるとか多々あって、こっちに引っ越してきて私服になったら毎朝面倒くさい。どれにするあれにするとか、あれが欲しい、小っちゃくなったとかって、

すぐ子供の服は小さくなりますので、でもそれは、制服も同じで、1年着られたらいいところかな、みたいなどころもあったりとかして、なので、制服にもやっぱりメリット・デメリットがあって、私服にもやっぱりメリット・デメリットがあって、なので、うん、面白いなどは思いながら、どうしたら一番平和なのかなって中学校からもみどりの中学からも行く方もいらっしやいますよね。なので制服をすでに持っている方もいらっしやるので、そういった方々のこととかいろんなことを考えなきゃいけないので。

委員：先日買ったのはもうだぶだぶのものです。3年生まで来てくださいねっていうような形で、多分どこの家庭もただどこまで大きくなるかな卒業式のときにまだ大きかったらどうしようかなとかいうそういう心配事をありながら、ただ、先ほど事務局の方おっしゃられたような自由度については、お店に買いに行って、全く説明は受けられませんでした。みどりの学園ですって言ったら、はいこれで寸法取ってっていうような形で、もちろん初めてのことで、お店の人の話を聞くだけですけれどもそれで、3年分の大きな買い物をするっていうのはなかなか悲しかったです。あまり親としては、いろいろ複雑な思いがありましたので、その必要性は何なんだろうとか思います。今のもちろん旧来のやり方を踏襲するっていうところの意味もあるんでしょうけれども、やはり話し合いの中で、何か新しいなり、良い方法が見出せればなと思います。

委員長：他にございますか。はい。お願いします。

委員：すいません。体操服なんですけれども、体操服、もしかしたら私服とかになるのかもしれないんですけど、白っていう決まりはありますか。上が白っていう。

事務局：特に市の方で、白にしてくれっていうことで決めているっていうところはございません。

委員：そう。どうしてもなんか年頃の子たちって白だとやっぱりちょっと胸と

かも気にしてる子たちもいるので、もちろん透けないようにとか、いろんなことを考えると、あえて白じゃなくてもいいんじゃないかなっていう部分もあったので、市の方で白って決まっちゃっていたのかなっていうふうに思ったので質問させていただきました。

事務局：はい、事務局です。みどりの学園もそうなんですけど、学園の森とか秀峰とか開校する前から私すべて関わってしまして、全部コンペしてあります。その時には、今言った白にしなさいよっていうわけじゃなくて、こう言って準備委員会があるので、皆さんで話し合っていて、メーカーも皆さんで決めていただいて、洋服も皆さんで決めていただいているので、その時、最後は皆さんで決めていただくことにはなりますけど、ここに書いてある通り、お子さんたちにもアンケートを取ってるんですね。なので決まったメーカーさんが、その時は大体3パターン作ってきますから、その時に例えば皆さんで白は1つ作るけど水色を作りたいねとか、濃い色を作りたいねっていうことは、話し合ってもらってもそれはいいと思うんですね。その上でアンケートを取った結果として、白になるのか、濃い色になるのか、はたまた、いや、両方作っておこうよっていうことになるのか、いろんなことを皆さんで話し合ってもらえればいいんじゃないかと思います。なので、あくまで先ほどのみどりのでっていうことをみどりのも同じように皆さんで話し合っているいろいろ作ってきました。伝統ある学校については当然そういうことは昔やらないで多分決まっちゃっている部分もあるかと思いますが、これから開校する学校については、そのように市がこうしなさいよって言うわけではなくて皆さんにお伺いしながら、あとはお子さんたちにもアンケートを取ったりして決めてもらっていますので、次回ですね、そういったことを含めてホームページとかいろんな見てもらったら他の学校のどんな制服とか体操服って見れると思うので、そういうのを見ながら、また、他市町村の事例とかもありますので、

そういうことを含めて、いろいろ皆さんでちょっと調べてもらったり聞いたりとかで、そういう情報とかを基に、次回以降話し合ってもらえればいいのかと思います。

委員長：よろしいでしょうか。制服・体操服にするのかっていうところですね、まずはね。そういうところから、ご意見をお伺いしながら決めていきたいと思いますので、ちょっと考えてきていただければと思います。よろしいでしょうか。はい。私からは以上です。

事務局：はい、事務局です。そうしましたら、各自、制服・体操服については、持ち帰りという形で、次回また協議の方を進めていくという形で議事2のほうは終わらせていただければと思います。そうしましたら、次回第6回の委員会の日程の調整なんですけども、これから1月下旬から2月中旬にかけてデザイン化の依頼っていうのを制作者さんの方に依頼させていただくんですけども期間としては大体1ヶ月ほどで想定としては、当初2月17日の金曜日までっていうのを想定しておりまして、第6回の委員会は、2月の27日月曜日、2月の28日火曜日、3月1日の水曜日というのをこちらとしては想定していたんですけども、スケジュールとしてはこのような形で進めてよろしいでしょうか。ではそうしましたら、後でデザイン制作者さんへの依頼の確認という形で、メールの方とかで送らせていただこうと思うんですけども、その時にこちらから、この日で大丈夫ですかっていう形で日程を送る形でもよろしいでしょうか。ありがとうございます。ではそのような形で日程調整は後日ということで取らせていただければと思います。はい。それではこれもちまして、第5回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を終了させていただきます。皆さん長い間、長い時間ありがとうございました。

4 閉会